

広島市立大学の 社会貢献 2026



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

科学と芸術を軸に
世界平和と地域に貢献する
国際的な大学を目指して

Contents

01		広島市立大学地域共創センターについて	1
02		社会貢献活動マップ	2
03		行政機関や地域団体・企業との連携	4
04		教育カリキュラム「地域志向特定プログラム」	6
		地域展開型芸術プロジェクト	7
		いちだい地域共創プロジェクト	8
		市大生チャレンジ事業	10
05		市民を対象とした公開講座	14
06		産学連携の推進	20
		産学連携教育	21
07		外部資金の獲得等	22
		ホームページ・アクセス等	23

■ ごあいさつ

広島市立大学は、地域の発展と地域課題の解決に資する教育研究を展開し、豊かな未来を地域と共に創りあげることで、広島広域都市圏の持続的発展を目指すことを使命と考えています。

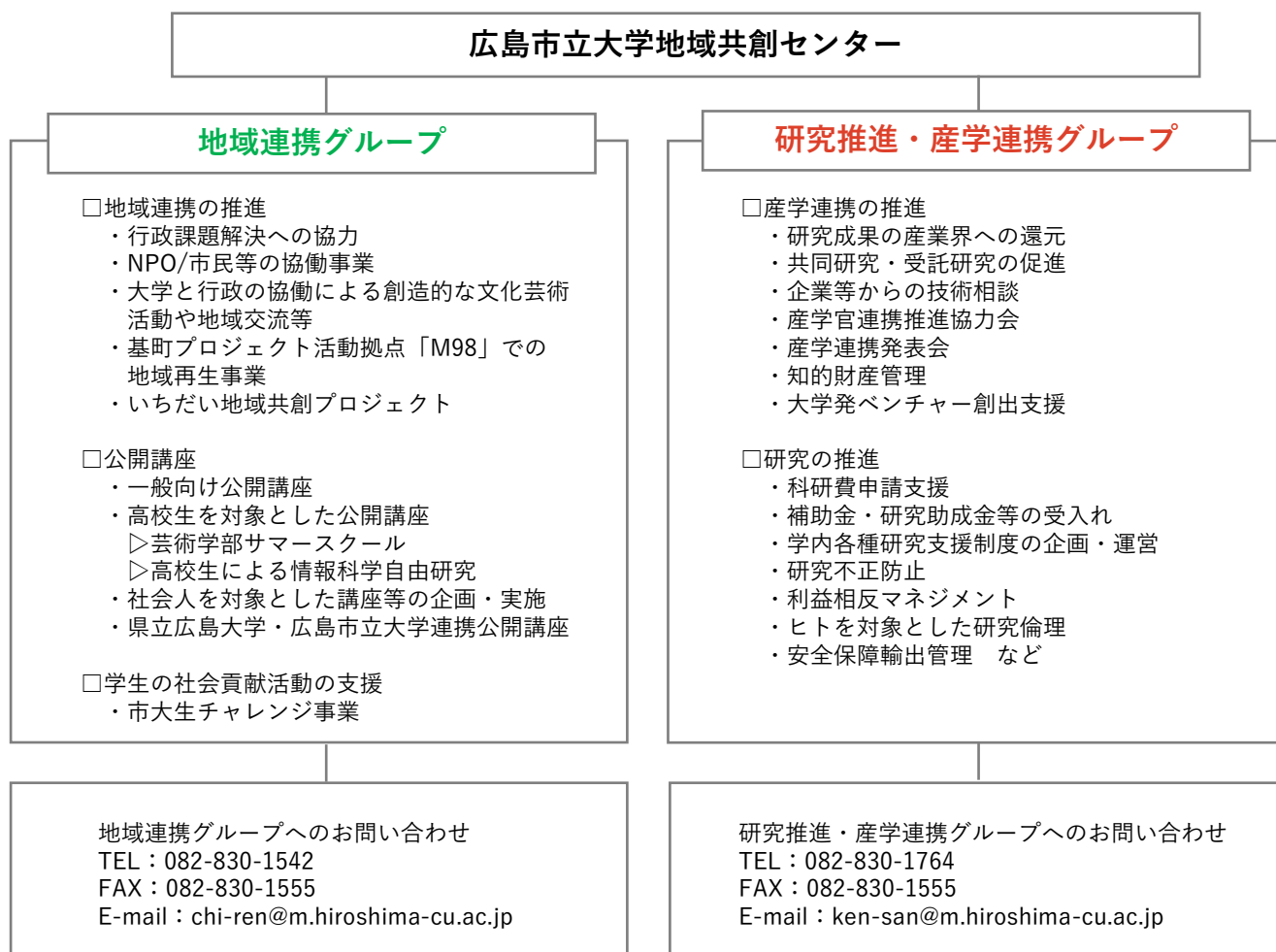
2024年4月、地域連携と研究推進を中心とした産学連携を強化し、地域共創に資する取り組みを一層着実に進めていくため、社会連携センターを改組して、地域共創センターを設置しました。

大学と社会、人と人をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携の推進、地域連携の推進、研究の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。

本パンフレットでは、本学の社会貢献活動の一端を紹介しております。地域や行政機関の皆様、産学官および地域の皆様に地域・社会貢献活動の取り組みを知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

地域共創センター長 田村 慶一

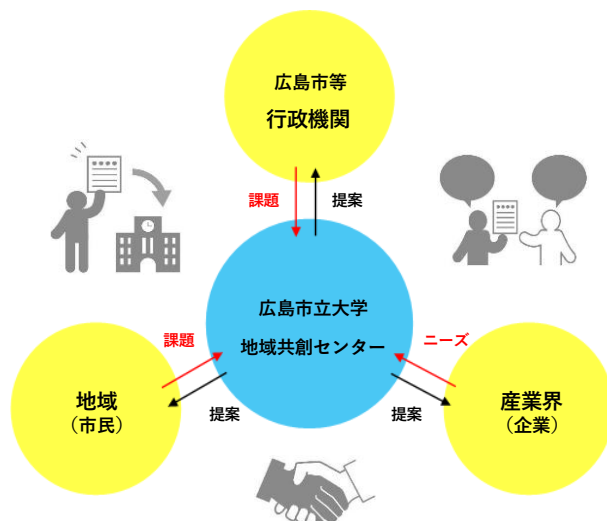
■ 地域共創センター所掌業務



■ こんなときは、地域共創センターへ

大学には教育、研究成果等の資源を活用して、市民・地域社会・企業等と連携し、地域・社会貢献を行うことが求められています。広島市立大学は、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指しています。

地域共創センターは、地域の皆様、産業界の皆様と大学をつなぐ窓口です。連携事業等のお問い合わせがございましたら、本学教員とのマッチングを行いますので、お気軽にご相談ください。





2025年度 社会貢献活動マップ

いちだい地域共創プロジェクト

広島市立大学の教職員や学生が地域の関係者と協働し、広島広域都市圏が直面する課題の解決と活性化に取り組む、2022年度に開始された事業です



受託研究

行政機関や企業などの外部団体からの依頼を受け、大学がその専門的な知識や技術を活かして特定の課題解決に向けた研究を行う産学連携の取り組みです

市大生チャレンジ事業

学生が自ら選定した課題や地域から提案されたテーマに基づく社会貢献活動を大学が補助金で支援し、学生の自主性や問題解決能力を養成する事業です

地域展開型芸術プロジェクト

芸術学部の教員と学生が地域に出向き、アートやデザインの力で地域の魅力や資源を再発見し、表現活動を通じて地域との交流や課題解決を図る活動です

地域志向特定プログラム

地域の特性や課題を理解し、将来的に地域社会で活躍・貢献できる「ひろしま地域リーダー」を育成するための、学部横断的な教育プログラムです

地域連携

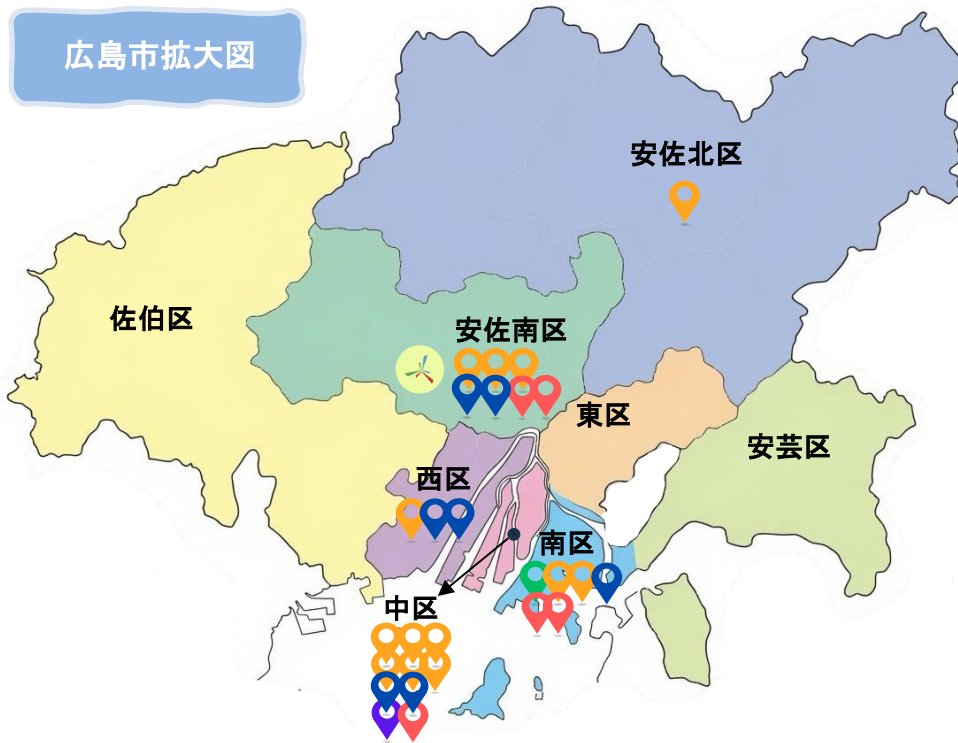
大学の教育・研究成果や資源を活かして、行政・地域・企業・市民等と協力し、地域社会の課題解決や持続的な発展を図るための多様な活動の総称です

広島広域都市圏

地域貢献人材育成支援事業

広島広域都市圏の自治体や企業と連携し、地域に定着して貢献する人材を育成することを目指した地方創生推進のためのプロジェクトです

広島市拡大図



	いちだい地域共創プロジェクト	17件
	受託研究	16件
	地域展開型芸術プロジェクト・地域志向特定プログラム	10件
	市大生チャレンジ事業	9件
	地域連携・広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業	7件
	合計	59件



行政機関や地域団体・企業との連携

広島市立大学は、広島市などの行政機関や関連団体からの依頼を受けて、課題を解決する研究に取り組んでいます。

2025年度のプロジェクトを中心にをご紹介します。

行政機関との連携

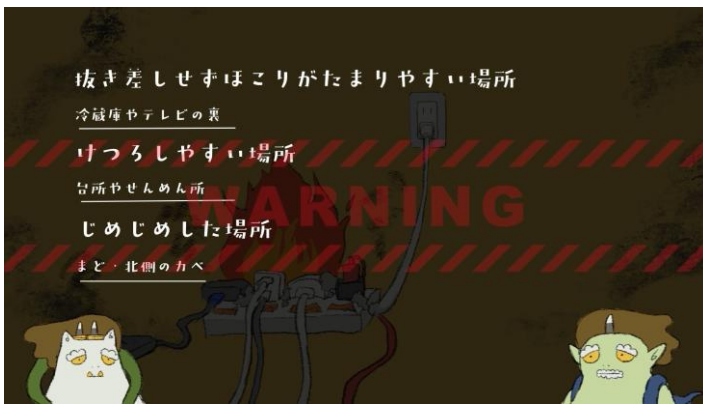
行政との連携では、芸術学部の受託研究が活発でした。11年目を迎えた「基町プロジェクト」をはじめ、被爆80周年記念事業「平和大通り芸術祭」の開催、「火災予防ショート動画」の作成、いくつかのデザイン制作を広島市から受託しました。デザインには、「広島城三の丸歴史館ロゴマーク」、「広島市水道局マスコットキャラクターじゃぐっちーのラインスタンプ」、「安佐北区PRキャラクター」などがありました。



広島市水道局「じゃぐっちー」ラインスタンプ



広島城三の丸歴史館ロゴマーク
プレゼンテーション



広島市消防局「火災予防ショート動画」

情報科学部では、2024年度に引き続き、広島市安佐南工場（ごみ焼却工場）において、来場者がより魅力的に工場見学できるよう、クレーン操作室や大型ごみを破砕する場面などを360度撮影し、通常では見ることでできない場所を、まるでその場にいるかのような体験ができるAR（拡張現実）技術を活用したデジタル教材を開発しました。

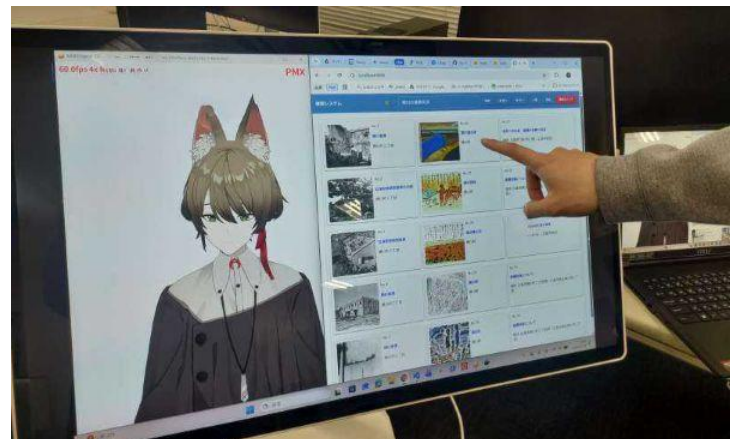
また、広島市が収集・蓄積している被爆体験記等のデータについて、多様な質問の仕方に対応できるよう、AI（人工知能）などのデジタル技術を用いた検索システムの検討を継続しています。いずれも、2026年度（3年目）に継続されています。



教材作成のため、普段は見ることでできない場所を撮影



安佐北区PRキャラクター「きたにゃん」



被爆体験データ等の検索システムの研究

CG-CA Uka (c) 2023-2024 by Nagoya Institute of Technology,
Moonshot R&D Goal 1 Avatar Symbiotic Society

地域団体との連携や 企業と連携した社会貢献

広島市立大学は、地域からの要請にも可能な限りお応えしています。いちだい地域共創プロジェクト（8Pに掲載）のほかにも、地域団体や企業と連携した社会貢献活動を展開しています。

2025年度は、IT企業の提案によるビジネスアイデアコンテスト、印章・印刷・デザイン会社とのおりづる再生紙の活用に関するディスカッション、医療法人との旧病棟の修景に関する検討などを行いました。社会人の皆さんのお話を聞いて、現実の課題について解決方法を検討しました。

また、企業から「場の提供」を受けて、作品を展示し、市民に芸術文化に触れる機会を提供しました。銀行のディスプレイウィンドウやオフィス家具のショールームに作品を展示しました。また、ひろしま美術館様からの提案を受けて、館の企画展とコラボした彫刻展示を実施しました。その他、金融機関や施設、まちづくり団体の開催するワークショップやイベントに多くの学生が参加しました。

広島市環境局のフードロス削減の取組に協力して、県立広島大学の学生がレシピ担当、本学学生が動画担当となり、「エコクッキング動画」を作成しました。

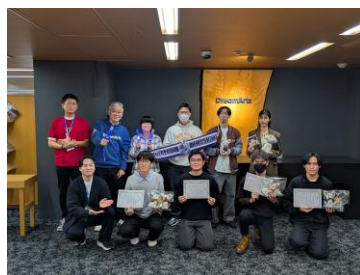
大学周辺地域との協力事業としては、本学のある旧沼田町地域（広島市安佐南区）の公立小中高大9校の児童・生徒・学生が作品を公民館に持ち寄って展示する「十六の会」美術展を開催しています。

安佐南区役所のロビーや構内に、1年間美術作品を展示する取組も長く続けており、2025年度からは、安佐南区民文化センターの依頼を受けて、大学院生などによるセレクション展も開始しました。

また、受託研究として安佐南区のPR動画も作成しました。2026年度は国際学部が戸山地区（旧沼田町）の地域活性化のため、ドローンの活用や学生がSNSに地域の情報を集中的に投稿していくなどの取組を行っています。



フードロス削減啓発のため県立広島大学との
コラボでエコクッキング動画を制作



㈱ドリム・アーツ様のビジネス
アイデアコンテストの授賞式



㈱文華堂様とおりづる再生紙
活用についてディスカッション



こころホスピタル草津様の
旧病棟を視察中



ひろしま美術館様の企画展と
コラボした彫刻展示



あおぞら銀行広島支店様のディスプレイウィンドウに彫刻を展示



CREATORE with PLUS様の店内に「十六の会」美術展に学生作品を出品
アート作品を展示



広島市立大学×安佐南区民文化センター「油絵専攻SELECTION展」と
「日本画専攻SELECTION展」のポスター

—地域に貢献する人材育成を目指し、学習や体験を行う—

本学は2015年度から 2019 年度の5年間、文部科学省から「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の実施校に選定され、地方への人の集積を目的に、広島広域都市圏の市町に尾道市を加えた25の自治体や地域の企業、大学と連携して、地域に定住し、貢献していく人材を育成するプロジェクトを進めてきました。
※COC はセンター・オブ・コミュニティの略称



地域を拓くなりわいを知る（広島県世羅町）



空き家再生から尾道の魅力と課題を知る（広島県尾道市）

地域社会の発展には若い世代の力が不可欠です。公立大学である本学にとって、地域に定着し貢献する学生を育成することは重要な使命となっています。

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を契機として始めた「地域志向特定プログラム」は、1、2年次の共通教育として、地域課題演習、地域再生論入門、広島の観光学、広島の産業と技術などを履修し、2、3年次の専門教育では学部ごとに地域に関連した科目や地域実践演習が組まれています。さらに、4年次で地域をテーマにした論文、研究、制作に取り組めます。プログラムの単位取得者には「ひろしま地域リーダー」の称号が授与されます。

このプログラムにより、地域の特性や課題を理解し、解決方法を総合的に考え、ネットワークを形成・調整し、専門性を効果的に発揮するという能力の育成を目指しています。



食と農、里山ライフスタイルを知る（広島県安芸高田市）



地域課題演習・合同発表会

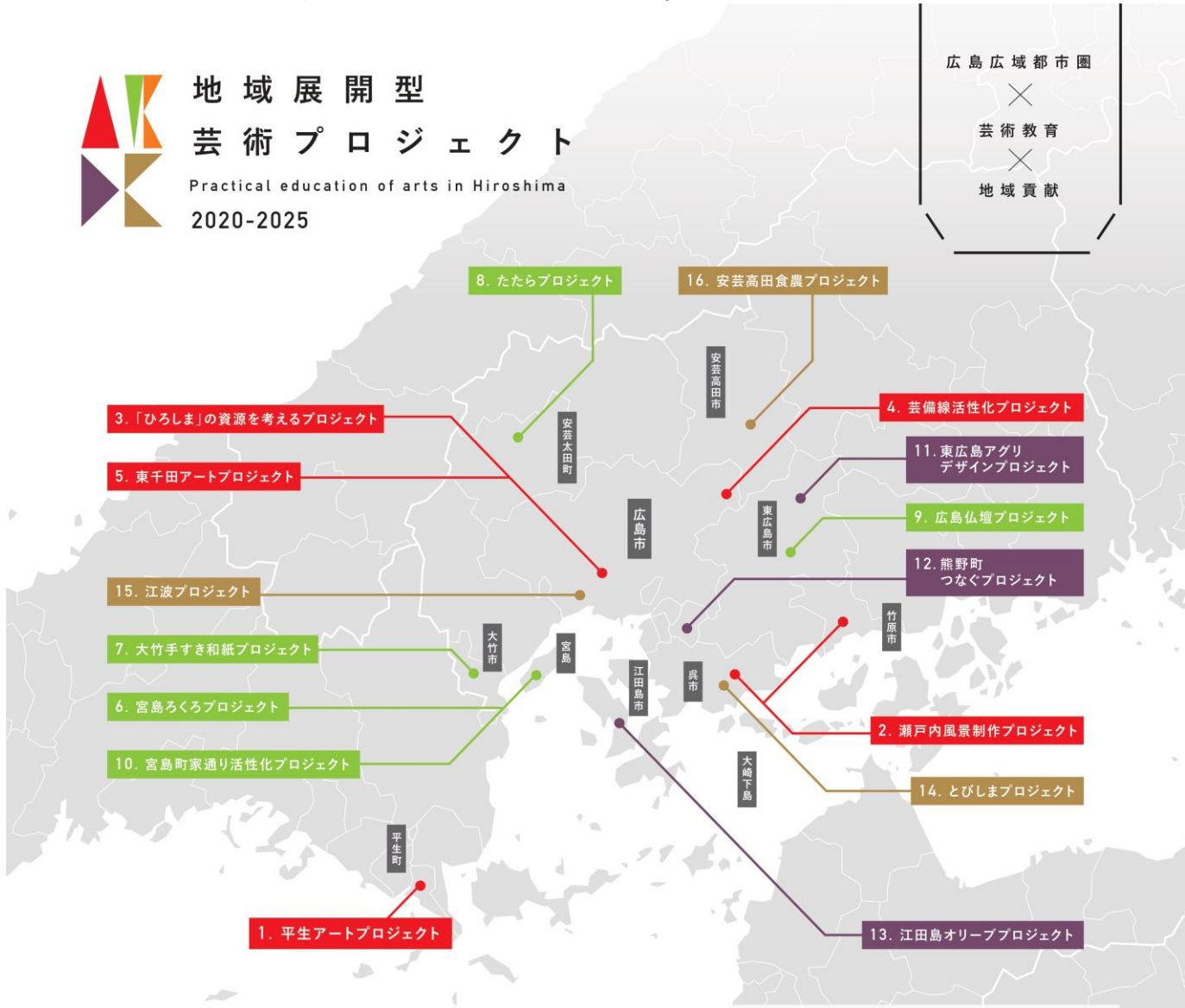
—地域の魅力や資源をアートやデザインで表現—

芸術学部の学生と教員が地域に出向き、アートやデザインによって、地域の魅力や資源などにスポットを当てる表現活動を行っています。学外教育として、学生が現場の環境や人々と触れ合いながら、取材、制作を進めるプロセスの中で、地域への発見や気づきを得る機会となっています。作品の展示やワークショップなどの地域活動によって交流も生まれています。



地域展開型 芸術プロジェクト

Practical education of arts in Hiroshima
2020-2025



地域×アート

arts

プロジェクト	実施年度
1 平生アートプロジェクト	2023-2025
2 瀬戸内風景制作プロジェクト	2022-2023
3 「ひろしま」の資源を考えるプロジェクト	2022-2025
4 芸備線活性化プロジェクト	2021-2023
5 東千田アートプロジェクト	2022-2025



地域×デザイン

designs

プロジェクト	実施年度
11 東広島アグリデザインプロジェクト	2021-2025
12 熊野町つなぐプロジェクト	2023-2025
13 江田島オリーブプロジェクト	2020



地域×伝統工芸

traditional crafts

プロジェクト	実施年度
6 宮島ろくろプロジェクト	2020-2025
7 大竹手すき和紙プロジェクト	2020-2025
8 たたらプロジェクト	2022
9 広島仏壇プロジェクト	2021
10 宮島町家通り活性化プロジェクト	2022



地域×コラボレーション

collaborations

プロジェクト	実施年度
14 とびしまプロジェクト	2020-2025
15 江波プロジェクト	2023-2025
16 安芸高田食農プロジェクト	2022

※委託研究等で、活動を行った年度も含む



いちだい地域共創プロジェクト



いちだい地域共創プロジェクトは、本学の教職員や学生が地域の関係者等と協働して、地域社会が直面する課題の解決に取り組むことで、広島広域都市圏およびその周辺地域の地域活性化と持続的発展に貢献することを目的として、2022年度から始めた事業です。



▶2025年度採択事業（教員の所属・職名は2025年度時点）

01 広島歴史紙芝居のデジタル化・映像化

課題提案地域団体：ワンチーム・れきし紙芝居
代表教員：芸術学部 教授 笠原 浩



★2024-2025年度採択事業

【活動の目的】

市民団体「ワンチーム・れきし紙芝居」では、広島歴史を紙芝居として伝える活動を行っており、既に6作品が完成している。今後は新作の制作に加え、既存コンテンツのデジタル化・映像化を通じてアーカイブ化と発信力の強化を目指す。団体メンバーの高齢化により新規媒体への対応が困難なため、協議の上、技術支援と助言を行い、未来へ歴史を継承する体制づくりを支援する。



02 北広島町アートプロジェクト

課題提案地域団体：NPO法人ねきえ
代表教員：芸術学部 講師 山浦 めぐみ

【活動の目的】

活動場所となる広島県北広島町には、美術館がない。美術館のない町で、こどもたちや町の人たちに、アートと触れ合う機会を提供するため、芸術学部の有志学生による展覧会とワークショップイベントを現地の施設（豊平地域づくりセンター）で企画・開催した。

ワークショップでは、日本画の和紙や岩絵具、顔料を使った葉づくりや展覧会場周辺の木の実や葉っぱ、雑誌や広告などをコラージュした作品づくりなどを楽しみました！



03 VR映像による広島の魅力発信

課題提案地域団体：VR旅行DAO
代表教員：情報科学研究科 講師 岡本 勝

【活動の目的】

地域の美しい自然や歴史・文化を、VR映像を活用して、どこにいても誰でも気軽に楽しんでもらうことを目的として活動している。新しいテクノロジーを活用して地方創生に寄与したいと考えている。2025年度は、広島県内で360度カメラを用いたVR映像の収録を実施した。



04

広島湾岸トレイル構想事業 山歩きの魅力と効能の考察とPRツールの制作

課題提案地域団体：広島湾岸トレイル協議会 ★2023-2025年度採択事業
代表教員：芸術学部 准教授 藤江 竜太郎

【活動の目的】

広島湾岸トレイルは、山・川・街・海・島を巡る全長291.9kmの都市隣接型周回トレイルで、世界でも類を見ない魅力を持っている。市民が立ち上げたこの道は、現在も高齢の市民団体によって維持・運営されているが、継続性が課題となっている。そこで本プロジェクトでは、本学学生が実際に歩いて体験し、若者ならではの視点で魅力をPRツールで発信することで、若年層やファミリー層の利用を促進し、将来的な整備・運営への関心を高めることを目指した。活動3年目となる2025年度は、イチダイトレイル整備・運営活動やロゴマーク・グッズのデザインなどを行った。



05

芸北の茅葺き（かやぶき）文化を未来へつなぐプロジェクト

課題提案地域団体：NPO法人西中国山地自然史研究会
代表教員：地域共創センター 特任准教授 平尾 順平

【活動の目的】

芸北地域では、かつて茅場（ススキ原）が集落ごとに存在しており、地域住民が協働で管理しながら茅葺き屋根を維持してきた。一方、1960年代以降は屋根材の変化により茅葺き屋根は急速に減少した。これにともない、茅場の維持も困難となり、草原環境の減少や生態系の変化などが起こっている。そこで、広島市立大学の学生や都市部の住人が現地を訪れて調査や体験、現地の方々との対話を行い、最終的に「インタープリテーション（IP）」の手法を用いた体験型ガイドプログラムを開発し、実践した。この活動を通じて、茅葺き文化の価値を見つめ直すとともに、若い世代を含む広域都市圏の人々と地域との新たな交流機会を生み出した。



06

だんばらのえんこうさん ★2023-2025年度採択事業

課題提案地域団体：段原おやじの会
代表教員：芸術学部 准教授 城井 文

【活動の目的】

大規模再開発で町並みが一変、人々の生活や近所の交流も変化した。再開発が落ち着いてから数十年が経過し、過去の状況を知らない住民が増えている。段原地区への愛着を醸成するため、絵本の制作に取り組んだ。本プロジェクトは2023年度から実施しており、2025年度は完成した絵本を活用して本学学生が読み聞かせ会を行ったり、原画展を開催した。2026年度は、市大生チャレンジ事業として受け継がれ、絵本の演劇化に挑戦する。





学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動を支援することにより、学生の豊かな人間性を育み、さらに自主性や問題解決能力を養成することを目的として、プロジェクトを実施するグループに対し補助金を交付します。

▶2025年度採択事業（教員の所属・職名、学生の所属・学年は2025年度時点）

01 食を通じた国際理解 ★2024-2025年度採択事業

【目的】

イベントを通じて世界各国の料理を食べながらその国の文化などを学び、理解を深めてもらう。また、公民館などの地域の団体と連携を取りながら活動を計画、運営することで、より地域に根差した、持続的な場を提供していく。前年度の反省を活かし、ワークシートの作成や中学生も対象とした企画を行い、幅広い世代に国際交流の場を提供する。

代表者：国際学部3年 伊藤 綾乃

構成員：4名

アドバイザー：地域共創センター 特任准教授 平尾 順平



02 広島100

【目的】

オランダの「ロッテルダム100」や韓国の「光州100」に着想を得た、都市再生・まちづくりプロジェクト。広島市立大学の学生や空間、デザイン、都市再生、建築、まちづくりに関心を持つ市民が参加し、地域のさまざまな場所や小さな空間を観察することで、普段見過ごされがちな日常の風景に新たな視点を提供する。

代表者：芸術研究科博士前期2年 ジョン・テヨン

構成員：6名

アドバイザー：芸術学部 教授 吉田 幸弘
芸術学部 准教授 藤江 竜太郎



03 呉市の廃校でファッションショー

【目的】

呉市の廃校で「子どもと大人をつなぐ」をテーマにした町おこしイベントを企画・開催し地域のコミュニティを活性化させる。ファッションショーとフリーマーケットを軸に、世代間交流が自然に生まれるような企画・空間づくりを行う。参加者の反応や運営の記録を蓄積し、参考資料や同様のイベントの実施モデルとなることを目指す。これにより他地域での廃校活用のハードルを下げ、地域資源の再発見と継続的な利活用を促進する。

代表者：芸術学部3年 橋本 みなみ

構成員：5名

アドバイザー：芸術学部 教授 吉田 幸弘



04

ふうどの庭（風土×food）

【目的】

日本の農業は、後継者不足や収益性の低さなどによる離農がますます深刻になっている。また、伝統的な食文化の消失や食育の欠如など消費者側の問題もある。その結果、自給率が低いにも関わらず、多量の食品ロスを生じるという悲しい状況となっている。自ら農と食の繋がりを体験し、その過程を学生に公開し、地域に話題を提供するなどにより、学内外に持続可能な農業と食文化への理解を深める。

代表者：国際学部4年 小倉 楓花

構成員：3名

アドバイザー：芸術学部 講師 長坂 有希



05

視覚障害者に対する理解を深めるための資料の作成

【目的】

「白い杖SOSシグナルを広める会広島」では、視覚障害者への理解を求めため、講演活動を行っているが、視力に障害があるため、パワーポイントスライドなどの視覚資料の作成に苦慮されている。このため、私たちが団体の方からお話を聞いて、視覚資料を制作することにより活動を支援する。子どもから大人まで多くの人に分かりやすい表現にすることを心掛け、視覚障害者への理解を深めたい。

代表者：国際学部1年 中間 希々花

構成員：3名

アドバイザー：地域共創センター 特任准教授 平尾 順平



06

被爆80年、再生紙おりづるで次世代へバトンを繋ぐ

【目的】

被爆80年という節目を迎える今、これからの時代を担う若者たちが何も感じることなく日々を過ごしてしまうことに、広島市の学生として強い危機感を覚えた。

自分たちと同世代の高校生と折り鶴を折りながら、折り鶴が再生紙へと生まれ変わるプロセスや意味を共有するプロジェクトを企画。平和への想いを折り鶴とともに壁画というかたちで未来に残していく。

代表者：芸術学部1年 雪貞 歩花

構成員：3名

アドバイザー：地域共創センター 特任准教授 平尾 順平



07 バリ島（マス村）との交流を通じた まちづくり・地域おこし

【目的】

バリ島マス村と友好提携を結んでいる島根県美郷町では、バリのアートを軸にしたまちづくりを進めている。次のような活動で行政課題の解決や本学の地域貢献の一助としたい。

- ・美郷町＝「バリの町」という認識を広め、町の活性化に繋げる。
- ・町のシンボルとなるような作品を制作する。
- ・ワークショップや作品展示を通して来場者に楽しんでもらう。
- ・バリ島の文化のように次世代にも愛される美郷町にする。

代表者：芸術学部1年 伊藤 由衣

構成員：5名

アドバイザー：芸術学部 准教授 古堅 太郎



08 彩街（いろまち）プロジェクト ～地域を彩る 魅力的な街づくり～

【目的】

- ・高齢者や子どもたちに対して、アートがもたらす感情的・精神的な癒しや安らぎ、前向きな気持ちの促進を図る。
- ・壁画制作や完成後の場を通じて、高齢者、不登校の子どもたち、学生、地域の人々が自然に関わる機会をつくる。
- ・壁画をきっかけに、介護施設「あかしあ大河」が地域の交流拠点となり、安心して集い、心を通わせられる空間を形成する。

代表者：芸術学部1年 佐藤 蓮華

構成員：17名

アドバイザー：芸術学部 教授 志水 児王



09 面で伝える里神楽の歴史と魅力

【目的】

昔から使われてきた神楽面を復元することで、広島神楽の歴史を知ってもらい、広島神楽の発展と継承に繋げる。

里神楽の起源や特徴、昔使われていた面（おもて）の形や意味の研究や、神楽団への訪問等による調査を行う。

大学祭で調査結果の発表・展示・神楽上演を行い、伝統文化の魅力を広く伝えることを目指す。

代表者：芸術学部3年 濱本 拓海

構成員：6名

アドバイザー：芸術学部 准教授 青木 伸介



地域共創活動報告会（2026年3月5日（木）開催）

2024年度まで「いちだい地域共創プロジェクト・市大生チャレンジ事業合同活動報告会」という名称だった本イベントは、いちだい地域共創プロジェクトと市大生チャレンジ事業だけでなく、地域展開型芸術プロジェクトや受託研究等の地域連携事例も紹介するため、2025年度から、名称を「地域共創活動報告会」に変更しました。

2025年度地域共創活動報告会は、対面とオンラインのハイブリッドで開催しました。
対面77人、オンライン117人、あわせて194名が参加しました。



▶2025年度地域共創活動報告会の様子は[全学公式サイト](#)からご覧ください。



社会全体の生涯学習ニーズの高まりの中で、大学は身近な生涯学習機関としての役割も求められています。広島市立大学では、こうしたニーズに応えていくため、その専門性を生かし幅広い層を対象とした公開講座を積極的に開催しています。



国際学部



国際学部公開講座

国際フェスタの開催に合わせて広島国際会議場で公開講座を実施しています。また、国連UNHCR協会の後援のもと、難民映画祭パートナーズ上映会を開催し、上映作品の背景などを解説する公開講座も行っています。

2025年度実施講座名	会場	受講料	定員	受講者
「揺らぐ世界秩序：トランプ時代のアメリカ、ロシア、朝鮮半島」	広島国際会議場	無料	120人	116人
「難民問題と共生の未来」	合人社ウェンディ ひと・まちプラザ	無料	100人	91人





地域産業の実践的IoT人材育成プログラム

社会人を対象とした、人工知能やロボット技術などの新しい技術を身に付ける実践的な教育プログラムの一環として、機材を用いた実習やプログラミング入門演習を実施しています。

2025年度実施講座名	受講料	受講者
画像処理を使ったロボットカー自律走行実習	6,200円	2人
Pythonプログラミング入門演習	6,200円	6人
AI実装プログラミング入門	7,200円	4人



情報科学部講演会

本学教員2名がそれぞれの専門分野について、講演形式で解説します。2025年度は本学サテライトキャンパスでの対面参加とオンライン参加のハイブリッドで開催しました。

2025年度実施講座名	受講料	定員	受講者
「自動化に人はどう関わるか：協調による支援のあり方」 「無線LANってどんな通信？」 ～基本的な仕組みの解説と取り組んでいる研究の紹介～	無料	120人	82人



県立広島大学・広島市立大学連携公開講座



県立広島大学・広島市立大学が共催し、講座を開催しています。「ひろしまを考える」は県立広島大学広島キャンパスで、「世界を知る」は本学サテライトキャンパスにて開催しました。
※【】内は担当講師の所属です。

2025年度実施講座名	受講料	定員	受講者
ひろしまを考える ～県大と市大の起業者に聞く！～ ひろしまで起業してみました！ 【県立広島大学】【広島市立大学】 全2回	無料	100人 (オンライン60人 +対面40人)	延べ60人
世界を知る 日本発のサウンドデザインで世界へ【広島市立大学】 EV・再エネ・DXで変化する私たちのエネルギー社会【県立広島大学】	無料	100人 (オンライン60人+ 対面40人)	117人 96人

芸術学部



芸術学部公開講座

夏休み期間に本学アトリエや工房等で開催します。大学で専門的な考えや知識を学ぶことができます。初心者向けのコースも開催しています。

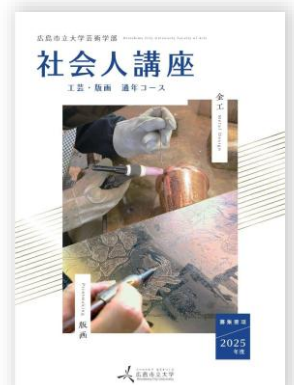
2025年度実施講座名	受講料	定員	受講者
日本画	10,200円	25人	25人
小中学生向け日本画	5,200円	10人	10人
油絵（水彩画）	7,200円	16人	16人
彫刻	6,200円	14人	19人
デザイン工芸（立体造形）	8,200円	10人	6人



芸術学部社会人講座

工芸・版画の分野で研鑽を深めることを希望する方々を対象に、1年間を通して新たな表現技法を習得していただく講座です。本学アトリエや工房等で開催します。
※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講します。

2025年度実施講座名	受講料	定員	受講者
金工（工芸・版画通年コース）	（週1日）92,000円	計10人程度 （各分野若干名）	4人
版画（工芸・版画通年コース）			4人
金工（夏季特別講座）	（6日以内）18,400円	計10人程度 （各分野若干名）	4人
版画（夏季特別講座）			不開講

芸術学部社会人講座(工芸・版画通年コース)
修了作品展

受講者の研究成果を発表する修了作品展を開催しています。

開催期間：2026年2月11日 水曜日 ～2月15日 日曜日
開催場所：合人社ウェンディひと・まちプラザ
ギャラリーA（広島市中区袋町6-36）





広島平和研究所公開講座

広島平和研究所は、平和研究の成果を大学・大学院における教育に生かすと同時に、シンポジウムや市民講座を通じて一般に公開し、社会に還元しています。

2025年度実施講座名		会場	受講料	定員	受講者
連続市民講座 「広島から戦後80年 と平和を考える」	平和・非核国家という規範の変遷	オンデマンド 配信	無料	500人	274人
	反核運動史概観—80年のあゆみ				
	「平和都市」広島の原点				
	国際原子力機関—原子力の法規制の現在地				
研究フォーラム	「核の傘」の当事者性—私たちは何を問われているのか	本学 交流ラウンジ	無料	30人	28人
	東京裁判における国際検察局（IPS）尋問調書をめぐって				
	Perspectives of “Gen” outside Japan				
	Hiroshima Peace Institute (HPI), UoB (University of Baghdad) & Japan Foundation (JF) Joint Research Forum				
	Critical Area Studies and Global Politics: the False Promise of Global IR				
国際シンポジウム	書評会—梅原 季哉 『核の戦後日本政治史—非核アイデンティティと日米安保の80年—』	本学 サテライト キャンパス	無料	30人	28人
	未来への記憶の遺産——原爆資料をどう継承するか				
		広島 国際会議場	無料	450人	約170人



▶詳細は平和研究所オリジナルサイトよりご覧ください。





芸術学部サマースクール

美術系大学進学希望者（高校生等）向けの講座です。将来、美術家、工芸家、デザイナーを目指すために必要な基礎実技プログラム、美術系大学への進学相談などを各専攻で開設します。

2025年度実施講座名	受講料	定員	受講者
日本画	6,200円	10人	12人
油絵（デッサン）	7,200円	16人	16人
油絵（油彩）	7,200円	16人	15人
彫刻	8,200円	20人	15人
デザイン工芸	6,200円	60人	60人



高校生による情報科学自由研究

夏休みを利用して、情報科学部で研究活動が体験できます。楽しみながら情報科学への興味や知識を深められるよう、教員と学生が研究活動をサポートします。2025年度は22テーマを開講し、合計104人の高校生が受講しました。

2025年度実施テーマ	
1) ミニ・スマートアグリシステムを作ろう！	12) 作ってチャレンジ！ロボットサッカー
2) 無線LANで通信実験！色々な場所で通信速度を調べてみよう	13) 最先端VRコンテンツをチーム制作してみよう！
3) ネットワークにおける「名前」の管理を考えよう～DNSとICN～	14) 音声・音響分析で音を可視化してみよう
4) 小型自走ロボットで迷路探索に挑戦しよう！	15) 論理パズルのAndroidアプリを作ろう！
5) ソフトウェア無線機によるFMラジオ・簡易スぺアナ作成体験	16) 交通事故実験！シートベルトがないときの危険性を調べよう
6) 検索拡張生成を使ったWebアプリを作ろう！～生成AIを活用した情報検索の世界～	17) 画像生成AIモデルが人間の感情を描けるのか？評価してみよう
7) 直観的に楽しく情報を探すには？～ファセット検索システムを作ってみよう～	18) 生命現象をシミュレーションしてみよう！
8) AIによる画像認識プログラミング体験	19) PythonとRaspberry pi picoによるかんたん心拍計測
9) 数理データサイエンス入門以前～パズルで行きましょう編～	20) 身体の電気信号どう見せる？
10) データに隠された知識をコンピュータで見つけよう～グラフ構造データとデータマイニング～	21) マイクロマシン技術を用いた呼吸センサ
11) オーディオ音質評価の基礎検討	22) スパース推定で遊ぼう！



2025年度報告会の様子

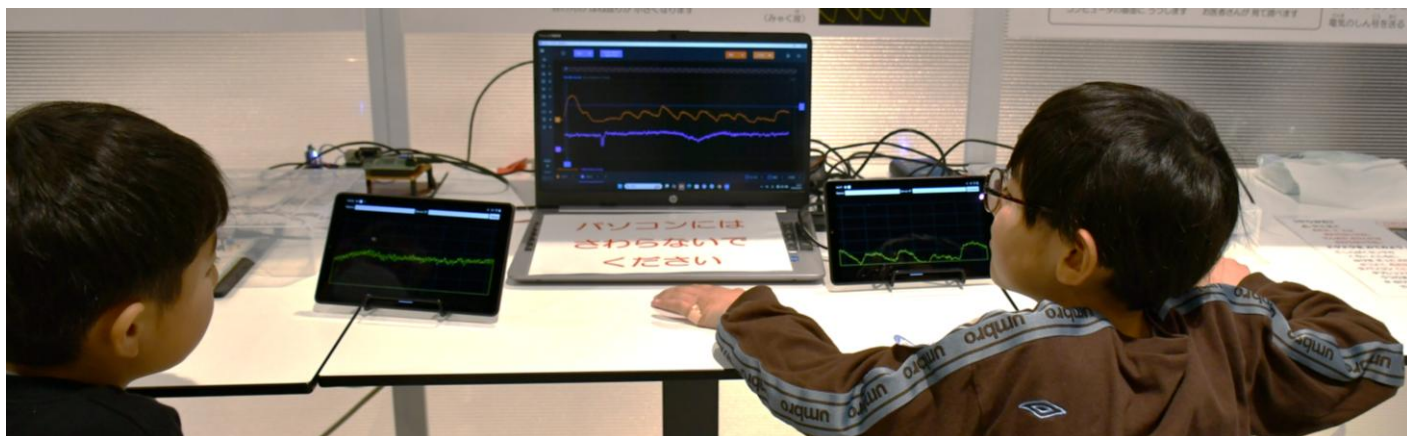




広島市立大学科学教室

教員と学生の有志による、小学生から高校生を対象とした科学教室です。科学原理をテーマとして、身近にある材料を使った工作や実験を通じて理科好きの子どもを増やし、広島県の児童生徒の文化活動の振興ならびに将来の科学技術の振興に資することを目的としています。科学原理は中学校から大学レベルの内容についても学習します。

2025年度実施会場	実施テーマ	受講料	参加者
認定こども園五日市こどもの国	シャボン玉	無料	59人
緑ヶ丘児童遊園	シャボン玉・ホバークラフト	無料	18人
口田公民館	シャボン玉	無料	15人
安芸高田市民文化センター	人エイクラ	無料	20人
安佐南区総合福祉センター	ホバークラフト	無料	28人
広島市青少年センター	シャボン玉	無料	34人
安東小学校	シャボン玉	無料	25人



いちだいサイエンスパーク（2025年度で終了）

小中学生を対象に、理科実験教室を行います。2025年度はジ・アウトレット広島のシティコートで2日間開催し、児童生徒352人とその保護者らを含め、計1,037人が参加しました。

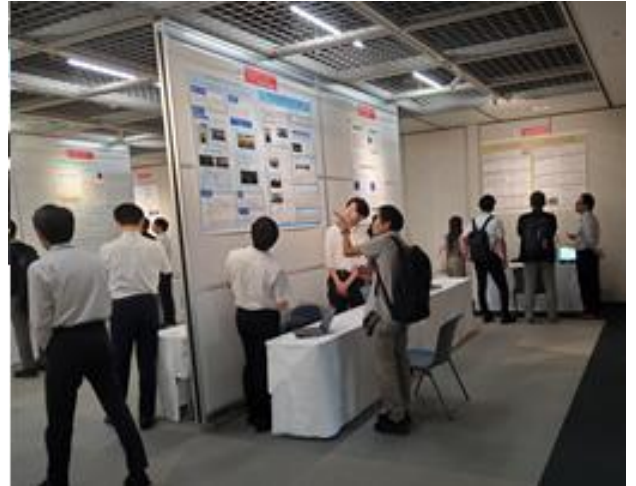
2025年度実施テーマ			
AIロボットでレース？	光で脈をはかる？	文字で肖像画？	タイヤのない車？
レモンで電池？	人が入れるしゃぼん玉？	自動ではたらく日用品？	

▶いちだいサイエンスパーク当日の様子は[全学公式サイト](#)からご覧ください。



産学連携発表会の開催

広島市立大学の研究シーズを地域産業界や産学官連携推進関係機関等へ広く紹介するため、「産学連携発表会」を毎年開催し、研究シーズの紹介、デモンストレーション、技術相談等、参加者と大学研究者の交流を通じて、地域産業界との共同研究への発展を目指します。2025年度は「AI×地域共創で描く新しい広島」をメインテーマに、基調講演ではデジタルネイティブを前提にしたTO BEの可能性を議論していただきました。研究者講演では、本学教員の研究シーズを紹介しました。



【2025年度実施内容】

日時：2025年9月19日（金）13：00～16：30

会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）

第一部 講演会

基調講演 「AI・DXが実現する新しいエコシステム ～ 課題先進国 日本への処方箋～」

東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩 氏

研究者講演「深層学習による人工知能の発展」

広島市立大学 大学院情報科学研究科 准教授 鎌田 真

研究者講演「時空間制約を受けない空間コンピューティングに向けた屋内位置測位の研究」

広島市立大学 大学院情報科学研究科 助教 山口 隼平

後援団体からの報告「広島AIラボの活動について」

広島県 総務局DX推進担当部長 安藤 良将

第二部 マッチングセッション・交流会

- ・各学部、研究科の展示（研究紹介）
- ・大学発ベンチャー企業の展示（事業紹介）
- ・産学連携関係団体の展示（事業紹介）



▶2026年度の産学連携発表会については特設サイトよりご覧ください。

各種展示会等への参加

各種展示会や産学連携イベント等に積極的に参加し、行政・金融機関、民間団体、企業等との連携を強化するとともに、研究活動の紹介と新たなニーズの発掘を通じ、研究活動及び共同研究、受託研究のより一層の推進に努めています。

【主な出展行事】

行事名	内容	主催
大学見本市～イノベーション・ジャパン	全国の大学等機関から創出された研究成果の社会還元・技術移転を促進すること、及び、実用化に向けた産学連携等のマッチング支援を実施することを目的とした日本最大級の産学連携催事。	国立研究開発法人科学技術振興機構
JST新技術説明会	大学、高等専門学校、国立研究開発法人の研究成果（特許）を実用化（技術移転）させることを目的として、新技術や産学連携に興味のある企業関係者に向けて、研究者（＝発明者）自らが直接プレゼンする特許の説明会。	中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）
ひろしまIT総合展	ITによる地域経済の活性化を推進する西日本最大級のIT総合イベント。1987年から隔年で過去19回にわたり、広島で大規模なIT展示会の開催を継続している。	ひろしまIT総合展実行委員会

産学連携教育 ～大学と一緒に教育・人材育成を！～

本学では、地域社会との積極的な連携による教育プログラム「産学連携教育」を実施しています。団体・企業様に大学で講義や実践的な授業を受け持っていただくなど、多様な学びの機会を通して、地域社会や地域産業に根ざした人材育成を行います。

2027年度より、授業や講座をリニューアルします！

従来開講の情報科学分野の産学連携教育の関連科目の見直しに加え、新たに全学部の学生を対象とした科目を設定します。



全学部対象プログラム

▶詳細は[本学公式サイト](#)よりご覧ください。

NEW 広島県の産業と技術

広島地域を支える産業について学ぶことを目的とした座学形式。企業・団体は、1回出講し、テーマに沿った講義を実施する。

参加企業・団体の例 広島県の伝統産業・農業・食品産業・工業・マスコミ・医療・広島県（観光）・広島市（経済振興）ほか

対象学生 学部1・2年
(国際学部・情報科学部・芸術学部)

授業実施月 10月～2月



学生の声 東京や大阪の大企業への就職しか考えてなかったが、広島（地元）の中小企業も視野に入りたい。

情報科学研究科・情報科学部対象プログラム

情報科学分野の学生を対象とした講義演習型の3つのカリキュラム

タイプA 知る！ 講義形式



地域や企業の課題、IT人材育成の必要性や課題解決に向けた取り組みを講述する座学形式。団体・企業は1回以上出講し、テーマに沿った講義と小課題の評価を担当。

対象学生・授業名 学部2年「実践的ICT活用事例」 **授業実施月** 12月～1月

タイプB 深める！ 演習形式



企業・団体から提示された課題に対し、学生が背景調査や解決プロセス（グループワーク等）を体験する演習形式。団体・企業はプロセス指導と成果評価を担当。

対象学生・授業名・授業実施月 学部2年「課題解決型演習」・8月～9月
大学院1・2年「プロジェクト演習」・7月～2月

タイプC 実践する！ 実習形式



現場での就業体験を通じ、実践的なシステム開発に取り組む実習形式。団体・企業は学生を現場で受け入れ、開発指導と評価を担当。

対象学生・授業名 学部3年「システム開発実践」／大学院1・2年「高度システム開発」

授業実施月 8月～9月

学生の声

普段は意識しない問題の解決に取り組み、課題解決の知識やチームでの進行方法を学ぶ機会になりました。



【提案から実施までのフロー】※授業によって、調整・授業等の実施月は異なります。



①授業テーマ提案
(9月～11月)



②授業テーマ決定・
実施依頼 (12月頃)



③実施に向けての調整
(翌年1月～順次)



④次年度、授業実施

【技術相談への対応】

企業等から寄せられる技術相談に対応し、研究シーズと企業ニーズのマッチングを通じ、受託研究、共同研究を推進しています。

▶詳細は[本学公式サイト](#)よりご覧ください。



【研究シーズ集】

本学教員の最新の研究成果に基づいた技術シーズを公表しています。

▶詳細は[本学公式サイト](#)よりご覧ください。



【外部資金の獲得状況】（「基礎データ集」より抜粋）

①科学研究費助成事業(交付決定額)

単位：千円

区分	2021		2022		2023		2024		2025	
直接経費	59件	65,750	56件	52,850	50件	45,100	60件	70,000	68件	78,400
【参考】間接経費		19,365		15,855		13,530		21,000		23,520
計		85,115		68,705		58,630		91,000		101,920

※件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費を除く。

②その他の外部資金獲得状況

単位：千円

区分	2021		2022		2023		2024		2025	
共同研究・受託研究費	47件	48,980	62件	74,043	66件	64,906	56件	75,511	65件	95,272
補助金	3件	21,311	2件	33,961	5件	46,692	3件	31,030	3件	39,564
奨学寄附金	11件	9,966	10件	9,561	9件	9,295	13件	12,500	15件	11,196
合 計	61件	80,257	74件	117,565	80件	120,893	72件	119,041	83件	146,032

【特許出願、知的財産管理】

区分	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
特許出願件数	14	16	15	11	9	5	12	5	8	9	7
商標出願件数	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0
審査請求件数	5	14	8	1	9	4	9	4	3	2	5
特許登録件数	2	7	12	7	6	3	8	6	3	1	3
商標登録件数	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0
特許権の譲渡件数	0	2	1	7	8	0	0	9	1	0	1

【本学所有の特許・商標一覧】（2026年8月現在）

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称
1	2012.5.11	第4985098号	特願2007-138382	運転訓練システム
2	2013.1.11	第5548980号	商願2012-37104	Hiroshima City University
3	2013.8.2	第5327735号	特願2007-271204	信号再生装置
4	2013.9.6	第5354485号	特願2007-340381	発声支援方法
5	2013.10.25	第5625331号	商願2013-040684	3つのひかり 未来をつくる
6	2016.7.15	第5967758号	特願2012-150807	荷重測定装置
7	2018.3.2	第6297611号	特願2016-031648	転倒検知装置及び転倒判定方法

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称
8	2018.4.20	第6325234号	特願2013-231642	減速タイミング通知装置
9	2018.8.3	第6376680号	特願2014-029848	通信システム及び通信方法
10	2019.2.8	第6473872号	特願2015-152945	映像構築装置、疑似視覚体験システム、および映像構築プログラム
11	2019.8.16	第6570224号	特願2014-162391	自動車の外界認知性計測システム
12	2020.10.23	第6782940号	特願2016-167180	舌位・舌癖判定装置、舌位・舌癖判定方法及びプログラム
13	2020.10.23	第6782946号	特願2017-160560	音質制御システム、音質制御方法及び動力機械
14	2020.11.4	第6788303号	特願2019-535697	モーションベース
15	2020.11.16	第6795190号	特願2017-038857	歩行感覚呈示装置及び呈示方法
16	2021.3.9	第10942187号 (米国特許)	16/145509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
17	2021.3.22	第6856194号	特願2016-212332	医療用流れ測定装置およびその製造方法
18	2021.6.9	第6400229号	商願2020-133548	心をつなぐ 知の拠点
19	2021.7.6	第6412193号	商願2020-133549	図形（金色）
20	2021.8.26	第6934679号	特願2019-046801	ブロックチェーン取引作成プロトコル、及びブロックチェーンアドレス作成方法
21	2021.10.29	CN109073590B (中国特許)	201780021302.9	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
22	2021.11.15	第6978001号	特願2018-508026	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
23	2021.11.24	EP3438278 (英、独特許)	EP17775006.4	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
24	2021.12.6	第6989127号	特願2018-076719	道路修繕順位決定システム
25	2021.12.24	第6999141号	特願2020-116274	生体情報収集システム及びセンサユニット
26	2022.5.20	第7076732号	特願2018-036434	アデノイド肥大判定装置、アデノイド肥大判定方法及びプログラム
27	2022.6.7	第7084576号	特願2018-088459	流れ測定装置
28	2022.8.22	第7127839号	特願2019-031119	予測調整型サスペンション制御システム
29	2022.12.8	第7190685号	特願2019-544509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
30	2022.12.28	第7202638号	特願2019-026986	先端分離型マイクロニードル
31	2023.1.23	第7215678号	特願2019-030009	生体情報測定装置、生体情報測定方法及びプログラム
32	2023.1.31	第7219437号	特願2018-139191	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、秘匿演算変換プログラム、および記録媒体
33	2023.8.22	第6732272号	商願2023-017968	図形商標（1）
34	2023.8.22	第6732273号	商願2023-017969	図形商標（2）
35	2023.8.22	第6732274号	商願2023-017970	図形商標（3）
36	2023.12.11	第7401046号	特願2019-189092	脳機能計測装置及び脳機能計測方法
37	2024.3.25	第7460155号	特願2020-556169	脳機能計測装置及び脳機能計測方法
38	2024.12.16	第7605539号	特願2024-038502	脳機能計測装置及び脳機能計測方法
39	2025.5.30	第7689669号	特願2021-046131	音質分析方法、音質分析プログラム、および該音質分析プログラムを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体
40	2026.1.20	第7699803号	特願2021-117720	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、および、秘匿演算変換プログラム
41	2026.1.20	第12527488号 (米国特許)	17/294,354	脳機能計測装置及び脳機能計測方法
42	2026.6.5	第7873814号	特願2022-085609	注視点推定装置、選択経路予測装置、移動装置、注視点推定方法、選択経路予測方法及びプログラム
43	2026.7.1	第7887125号	特願2022-111156	3次元形状計測装置

（商標7件（全件単独）、特許36件（国内単独17、国内共願15、外国単独1、外国共願3））



広島市立大学地域共創センター
〒731-3194
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
(情報科学部棟別館1階)



公立大学法人広島市立大学 地域共創センター

2024年4月1日より社会連携センターから名称変更しました。

地域連携グループ

TEL : 082-830-1542

FAX : 082-830-1555

E-mail : chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp

研究推進・産学連携グループ

TEL : 082-830-1764

FAX : 082-830-1555

E-mail : ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp